



# 査読をめぐるやりとりのポイント よくある疑問・よくある指摘

—投稿者と査読者・編集委員のコミュニケーションの向上—

**日時：2013年1月27日(日)**

13時30分～16時30分(13時開場)

**会場：女子栄養大学駒込キャンパス 小講堂**

(JR 山手線 または 東京メトロ南北線 駒込駅下車(徒歩5分))

査読は、一定の質を保った科学的知見を社会に送り出すための査読者と投稿者のコミュニケーションのプロセスです。研究論文の執筆者も投稿された論文の査読や編集にあたる専門家も、ともにより良い水準の研究成果を明確に書かれた論文として世に送り出したい気持ちではあります。そのための質保証のプロセスとして、査読というシステムが作られているのですが、時として、ミスコミュニケーションに陥ることがあります。その原因は、投稿論文・投稿者にある場合、査読者の指摘にある場合の両方が考えられます。日本健康教育学会誌が、これからも日本の健康教育・ヘルスプロモーションをリードする雑誌として質を向上させていくためには、投稿される論文の質と査読の質の向上、両者のコミュニケーションの質の向上をはかる取り組みが必要であると考えています。

そこで、本セミナーでは、前半では、査読者が指摘する共通のポイントを、もう一度査読する側の立場から整理して、確認したいと思います。そのポイントを知ることが、論文を仕上げる際のポイントにもなるでしょう。後半では、参加者の査読を受けた体験から、査読で指摘された問題点や査読者とのやり取りにおいて、困った点、良かった点、疑問に思った点について、ディスカッションや作業するグループワークを予定しています。

本セミナーは、好評を博した第1回論文査読セミナー「健康教育・ヘルスプロモーション論文の質向上のために」(2012年1月21日開催)に続く第2弾として、編集委員会が本学会誌の質向上に対する取り組みの一貫として企画いたしました。

## 具体的なプログラム

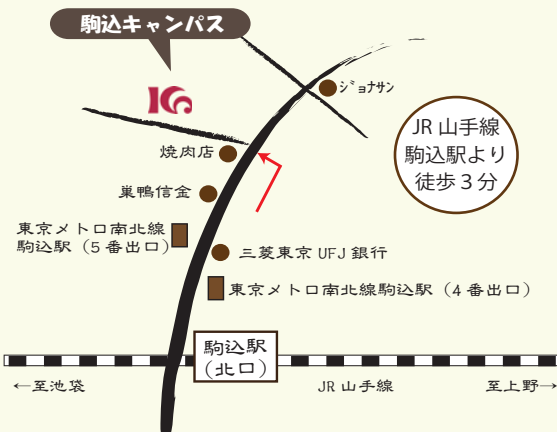
進行：朝倉隆司 (副編集委員長・東京学芸大学教授)

- 13:00 開場
- 13:30 開会挨拶・理事長挨拶
- 13:35 第1部：講義「査読者が指摘する共通のポイント」 神馬征峰 (編集委員長・東京大学大学院) 質疑応答
- 14:15 休憩(5分)
- 14:20 第2部：グループワーク  
グループ：①アブストラクト・緒言 G ②方法 G ③結果・図表 G ④考察 G ⑤実践報告 G
- 15:25 休憩(10分)
- 15:35 各グループワーク発表と委員からのコメント 進行：赤松利恵 (副編集委員長・お茶の水女子大学)
- 16:25 閉会の挨拶(朝倉副委員長)

## 参加費と参加方法

正会員 500円, 非会員 1000円, 学生会員 無料, 学生非会員 500円

※参加ご希望の方は、件名：**論文査読セミナー参加希望**として、氏名、所属、連絡先(メールアドレス)と、**学生会員・非会員・学生**のいずれかを、下記申し込み先まで、メールまたはファックスでご連絡ください。定員に達していない場合、当日参加も受け付けます。



平成24年度学会主催セミナー申込・問合せ先  
日本健康教育学会事務局 女子栄養大学食生態学研究室内(担当：土屋)  
TEL: 049-283-2310 FAX: 049-282-3721 E-mail: nkkgeiyo.ac.jp